

オーストリアのメディア「中国の共犯にならないで」

オーストリアの新聞『クローネン・ツァイトゥング』（『クローネ』）は10月27日、「数十億ドル規模のビジネスとしての生体臓器摘出」と題するレポートを掲載した。

同レポートでは、中国共産党（以下、中共）が法輪功学習者（以下、学習者）の臓器を生きたまま摘出している犯罪行為を暴き、カナダの人権弁護士デービッド・マクス氏の言葉を引用して「中国の共犯にならないで」と呼びかけた。

『クローネ』はオーストリアで最も発行部数の多い日刊紙で、170万人以上の読者を持つ。

中共の公表データと調査結果の大きな違い

同レポートでは、中共政府が公表している臓器移植のデータと、独立した調査によってまとめられた調査結果

に大きな違いがあると指摘した。「移植件数が（中共政府が発表した）年間1万件ではなく、6万件であることが分かった。その後、その数字は6万ではなく、10万に達した」

中共政府は「すべての臓器は寄付によるものだ」と主張している。臓器提供率の低さと移植件数の多さの不一致について説明を求めると、事故によって得られた臓器もあるのだという。マクス氏は「臓器移植は計画できるが、事故は計画できない」と反論する。

同レポートでは、中共が学習者を臓器供給源とみなしていることも指摘している。「学習者は最大の被害者のグループである。1999年には1億人もの人々がこの修煉をしていた。学習者は非常に健康で、全国に分布して



■レポートを発表した『クローネン・ツァイトゥング』（ウェブサイトのスクリーンショット）

いる。学習者の臓器は（中共に 器移植は中国で数十億ドル規模 として）『収入源』である。臓 のビジネスになっている」

中国の共犯にならないために

同レポートは「オーストリア人に中国の共犯者になってほしくないのであれば、自国民が臓器移植のために中国に行くことを禁止しなければならない」と述べた。

2015年、オーストリアはEUの臓器売買禁止条約に署名した。マクス氏によると、「この協定は各国に臓器売買の共謀を犯罪とする法律の制定を義務づけている。オーストリアがこの法律を可決すれば、国民は合法的に中国に臓器移植を受けに行くことができなくなる」

同氏によれば、法律を制定している国は現在20カ国あるが、「世界には193カ国があり、道りはまだ長い」という。

広島県各地で法輪功を紹介



■第二式の煉功をする法輪功学習者

広島の法輪功学習者（以下、学習者）は11月の週末、各地のイベントに参加した。学習者はステージで法輪功の

五式の功法を実演すると共に腰太鼓を披露し、訪れた人々に法輪功を紹介した。

市民が法輪功を体験

学習者が参加したイベントは「生涯学習フェスティバル」や「可部公民館まつり」、「祇園西公民館まつ

り」、「まちづくり市民交流フェスタ」、「国際フェスタ2023」など。11月3日から4日までは「生涯学習フェスティバル」に展示ブースを設け、資料を配布して法輪功を紹介したところ、開会式に出席した東広島市の市長や多くの市議会議員、県議会議員が立ち寄った。

学習者が祇園西公民館のステージで法輪功の功法を実演すると、その様子を見ていたかおるちゃんという女の子が、最初から最後まで大人と同じように功法を学んだ。正確な動きで、とても楽しそうだった。お母さんは、笑顔で見守っていた。

「まちづくり市民交流フェスタ」では学習者が功法を実演すると、現場のスタッフも功法を習い、「全

身が熱くなるのを感じた」とコメントした人もいた。

「国際フェスタ2023」では、飯塚さんと池田さんが学習者による功法実演を見ていた。飯塚さんは「この功法を習った後はとてもリラックスし、これからも続けて学びたいです」と語り、煉功場所の詳しい情報を確認し、「またお会いしましょうね」と別れた。

平和公園で煉功

地元の学習者たちは毎週日曜日の午後、平和公園の原爆ドームの近くで煉功している。11月19日午後、学習者たちはいつものように煉功していたところ、60代の女性2人が加わった。帰りに2人の女性は、それぞれ家で読むと言って法輪功の資料を持ち帰った。

NZの法輪功学習者 Xmasパレードに参加 人々は真・善・忍の理念に賛同

ニュージーランドの法輪功学習者（以下、学習者）は11月26日、オークランド市の中心でクリスマスパレードに参加した。今年で90回目の同パレードには総勢123のユニットが参加し、観客は約10万人と推定されている。

約100人の学習者からなる天国楽団は、青と白の古典的な衣装、整然とした歩調、壮大な楽曲で参加した。優雅な舞龍隊は子供たちを笑顔にした。

衣装のデザインが独創的でとても美しい

キリ・ウィットフォード・ジョイントさんは、ダンスやパフォーマンスのスタジオのオーナーである。彼女は「花車と衣装が素晴ら

しい！ 特に衣装は、デザインが独創的でとても美しいです！」と称賛した。

メッセージが非常に明確

スムキさんは、ニュージーランドのクリスチャンスクールで教職に就いている。彼女は法輪功のパレードは素晴らしく、伝えようとしているメッセージが非常に明確だと称賛した。中国で起きている信仰への迫害は、信仰の自由に対するものである。「2023年になっても、中共は、なお信仰する人を迫害しています。そうした迫害する権利を誰が与えたというのでしょうね。本当に信じられないことです」と語った。

反迫害を続けて！

漢方医のハリエットさんは、中国文化が大好きである。彼女はかつてロンドンで少し法輪功を学んだことがあり、法輪功は非常に平和で、真・善・忍は非常に優れた理念と感じているという。彼女は「しかし、中共は人々が法輪功を学ぶことを禁じています。中共は人間性と自由を否定しています。学習者には頑張ることを続けてほしいと思います」と語った。

法輪功の真・善・忍の理念に賛同

エリカ・エスデイルさんと娘のエラちゃんは、共にパレードに参加した。エリカさんは法輪功の「真・善・忍」の理念に賛同し、自分の子供もこのような理



■オークランドのクリスマスパレードに参加した法輪功チーム

念に従うべきだと考えているという。

エリカさんは「彼ら（天国楽団）を見てると本当に素晴らしいです。前方の太鼓には『メリークリスマス』と書かれており、パレード全体にクリスマス

の雰囲気が漂っています。彼らの音楽は美しく、メロディは優雅で、演奏も完璧です。こんな素晴らしいパフォーマンスを楽しむことができ嬉しいです。彼らは本当に素晴らしいですね！」と語った。

大阪の北ボラ祭りで功法実演



■ステージで法輪功の功法を紹介

大阪の法輪功学習者（以下、学習者）は11月19日、大阪市北区区民センターで開催されたボランティア祭りに参加した。

同センターは2010年以来、学習者が無料で功法を教えるために教室を提供してきた。多くの人々がここで法輪功を学び、体験した。当日の朝、法輪功のブースを訪れた人々は、真剣にパネル資料を読み、法輪功の情報を求めた。

法輪功について知り、体験した人々

当日、ブースを設置した学習者は人々に法輪功を紹介し、蓮の花の折り方を教えた。そしてステージで五式の功法を実演していると、ステージ下にいた多くのスタッフも共に動作を学んだ。ある

男性は煉功して身体が軽くなったと語った。またある年配者は第一功法を体験すると、腹部で何かが回転しているのを感じたという。

子供を連れて来場した長山さんは、ブースで資料を読んで、以前に法輪功の情報を少し聞いたことがあると語った。しかし、未だに中共による迫害が継続しているとは思わず、このように凄惨なことは許すべきではなく、絶対に容認してはいけないと語った。

手話ブースの中村さんと吉川さんは、興味津々で法輪功のブースを訪れた。以前に法輪功について聞いたことがあったのだという。

また土岐さんは、学習者への迫害が早く停止し、世界が平和になることを心から祈っていると述べた。

シカゴ感謝祭に20年連続出場

アメリカの法輪功学習者（以下、学習者）は11月23日、第89回シカゴ感謝祭パレードに参加した。同パレードは『タイムアウト』誌で「米国で二番目に大きな感謝祭パレード」と称賛されている。通りには朝から熱狂的な観客が列をなし、多くの人々がテレビやオンラインで生中継を見た。

法輪功チームは今年で20年連続の参加となり、旗チーム、功法の実演チームや花車などが披露された。司会者は、「彼らを見るだけで、平和で

心地よい気持ちになります」「忙しくてストレスの多い一日の後、ぜひ試してみたいです」と紹介した。

好評を博した花車

観客の熱狂的な拍手と歓声の中、功法の実演を見て動作を真似する観客もいれば、携帯で撮影する観客も多くいた。パレードの直後、法輪功を学びたいと話すシカゴ市民もいた。

パレード当日はシカゴのCBSテレビ局とABCテレビ局が報道し、AP通

信は、法輪功チームの花車をシカゴ感謝祭の番組映像のサムネイル画像に選んだ。

法輪功パレードの写真撮影を続けたカメラマンのマリオさんは、法輪功の花車が大好きで、「100パーセント美しい！ 毎年この美しい花車を見ることができなんて、最高だ！」と語った。

シカゴ在住のマイクさんは、初めて法輪功を知り、真・善・忍はこの社会が必要としている価値観だと高く評価した。



■法輪功チームの花車

修煉をして どちら息子が改心、心身に大きな変化

ベトナム人男性の阮友維さん（33）は、来日して1カ月あまりの2017年3月のある日、病気で家にいました。彼はインターネットで法輪功のサイトを見つけ、その教えが40カ国以上の言語に翻訳されているのを見て驚きました。全世界の100カ国以上の国と地域に法輪功の学習者がいる理由を知りたくて、法輪功の創始者・李洪志先生の講法の録音を聞き始めました。

しばらくすると、言葉では言い表せないほどの素晴らし

さを感じ、その日は一気に九講の講法を全て聞き終えました。そして、阮さんは長い間困惑していた疑問が全て解かれ、法輪功を学ぶことを決意しました。

身体に大きな変化

修煉を始めてほぼ1週間後、阮さんの身体に変化がありました。3日間続けて発熱し、その後に嘔吐し、何度もトイレに行き、食べるとまたすぐに吐きました。しかしこれは身体が浄化され、体内の

良くないものが取り除かれていると分かっていました。

阮さんは、感謝の気持ちを込めて言います。「私には10年の喫煙歴がありましたが、とても簡単に（喫煙を）やめられました。病気も全て治りました。首と背中の中の三つの骨の変性は問題なくなり、低血圧も消えました」

「心で働いています」

法輪功を学び始めた阮さんは、職場でより真剣に働き、仕事の効率も高くなりました。職場環境も良くなり、同

僚との関係も和やかになりました。パソコンや機械の修理など、他の人が嫌がる仕事を彼は一人でこなしています。ある日本人が彼に「他の人ができない仕事がなぜできるのですか」と聞きました。彼は「他の人は頭で働いていますが、私は心で働いています。たとえ誰かに見られていなくても、私はしっかり働きます」と答えました。

阮さんは、こう言います。「会社にはベトナム人と日本人を含めて30人以上の社員が

います。社長は日本語を習ってわずか2カ月あまりの私を昇給させ、マネージャーになってほしいと三度も言ってくれました。もし私が法輪功を学んでいなければ、真・善・忍に基づいて自分を律していなければ、このような信頼をこれほど早く得られなかったでしょう」

どちら息子の改心で家族も修煉を始める

阮さんは、法輪功から受けた恩恵を両親にも紹介したいと思いましたが、今まで自分



■ベトナム語の『轉法輪』を読んでいる阮友維さん

が悪いことを多くしたために、両親の信頼を失っていました。

阮さんは「私は学生のころ、親に甘やかされ、タバコやギャンブル、宝くじ、ゲーム、格闘クラブなどに参加し、3回も家出し、家のバイクを密かに売ってギャンブルに使いました。人と喧嘩もしました。両親はずっと私のことを心配して何度も泣いていました」と振り返ります。しかし、法輪功を学んで、阮さんは「真・善・忍」に照らして自分を正し、親孝行で、社会に役立つ人になるよう決意しました。

阮さんは、ほぼ毎日、両親に電話をして様子を聞いたり、家に仕送りをしたり、親戚を助けるようになりました。

阮さんの家族に対する態度も変わりました。「私は家族に対する傲慢な態度を改め、とても穏やかに接することができるようになりました。特に妻にはより優しく接しています。ここ5年、妻に良くない言葉を一度も言ったことはありません。以前、私はよく妻の欠点をみて、他の人の奥

さんと比べていましたが、今は妻が一番いいと思っています」

両親は阮さんの変化をみて、法輪功に対する態度を少しずつ改めていきました。

1年後、父親は法輪功を修煉すると決意しました。父親はよく考えた上で決めたと言いき、言葉だけでなく、阮さんの行動をみて判断しました。父親はもともとキリスト教徒でしたが、息子の変化が父親の心を動かしました。

その後、母親、妻、弟も相次いで法輪功の修煉を始めました。親戚の人も李先生の説法を聞いたり、法輪功の本を読んだりしています。

千年も万年にも一度の機会を逃さないで

ここ数年、阮さんの家の果物、葉っぱ、車、ドアに、優曇華の花が相次いで咲いています。人々が千年も万年も待ち望んでいたものが伝えられているからだ阮さんは感じています。

元校長 二十年来の関節リウマチが治った

水墨画や書道、写真、織物など、4人のアーティストによる共同展覧会が、2023年9月に台湾の新竹県竹東鎮で開催されました。初日の開会の挨拶で、アーティストの1人の葉文正さんは「妻を救ってくれた法輪功に感謝します」と述べました。

葉さんの妻で写真家の杜華緑さんは、明るい笑顔で来場者を案内していました。彼女の目は明るく、顔色はバラ色で、20年以上にわたって関節リウマチに苦しんでいたとは思えませんでした。

法輪功との出会い

杜華緑さんは、もともと小学校の校長でした。健康状態が悪化し始めたのは、38歳のときでした。そして2001年に大きな生死の危機を乗り越え、多くの西洋と漢方の薬を服用しました。しかし、治療薬の副作用で、ドライアイ症

候群や婦人科疾患、皮膚のくすみなどが現れました。

2018年、彼女の体重はわずか37kgまで減りました。関節が硬く動くことが困難で、トイレの使用さえ困難でした。助けを求めている杜さんは、先輩の林素珍さんが法輪功について話してくれたことを突然思い出し、連絡をとりました。

林さんは、関節リウマチを患っていた姉も法輪功を学んで治ったと説明し、その姉の家まで案内してくれました。そこで杜さんは、赤ちゃんを抱いた林さんの姉の手を見ました。その手は力強く、リウマチだったとはとても思えませんでした。希望を見出した杜さんは喜び、すぐに法輪功を学ぼうと決めました。

杜さんは五式の功法を学び、法輪功の名著『轉法輪』を読みました。多くの法輪功

の学習者が熱心に彼女を助け、中国で行われた法輪功の講義ビデオを見せてくれました。

3カ月後、杜さんはとても楽になり、薬の服用をやめました。しかし関節はまだ腫れており、強い痛みがありました。

肌はツヤツヤ、関節も柔らかくなった

杜さんは他の学習者と交流し、自分の執着が「求めること」だと気づきました。つまり『轉法輪』を読むことと、煉功することを形式的なものともみなしていました。もっと『轉法輪』を読み、もっと煉功すれば、リウマチは治ると思っていた。

しかし李先生は「修煉は無条件であり、何も求めなければ得られるのです」と説かれていました。



■杜華緑さんと夫の葉文正さん

このことに気づいた杜さんは、『轉法輪』を学ぶことに集中しました。そして初めて、『轉法輪』の深い意味を本当に理解したのです。

『轉法輪』では、誰もがこれまでの人生で他人をいじめたり、傷つけたりして、多くの業を蓄積している可能性があると言われています。この業が人々の病気の原因なのです。病気から解放されたければ、「真・善・忍」に沿って心性を向上させなければなりません。

『轉法輪』を学び、煉功することに集中した後、杜さんの体に変化が現れました。皮膚の発疹や鼻水に悩まされたときも、李先生が体から業を層ごとに除去し、樹木の年輪のように押し出して下さっていると感じました。

やがて肌は硬くてざらざらした状態から、柔らかくツヤツヤと輝く肌へとゆっくりと変化し、関節も柔軟になりました。「新しい命を与えて下さって、感謝しています」と杜さんは言いました。

専門チームの調査結果、病気治療の有効率97.9%

1992年5月13日、法輪功（法輪大法とも呼ばれる）の創始者・李洪志氏は中国の長春市で心身を鍛える精神修養法を伝えた。

その「真・善・忍」の教えは人々の道徳の向上を導き、五式の動作は健康回復に顕著な効果があると口コミで広がった。そして大多数の法輪功学

習者（以下、学習者）は短期間で病気が良くなり、体が軽い状態を取り戻すことができた。

以下では、広東省の12,553人の学習者を対象として、医師や医学教授等の専門家で構成されたチームによって1998年9月に実施された調査結果を紹介する。

有効率が97.9%

調査対象は、男性が27.9%、女性が72.1%。50歳未満が48.4%、50歳以上は51.6%。一種類以上の疾病を患っていた学習者は10,475人で、2~3カ月から2~3年という期間を経て、全治および基本的に回復したのは77.5%だった。症状が好転した20.4%を加えると、健康回復の有効率は97.9%に至る。

7,170人の学習者が1年間に節約できた医療費は、合わせて1,265万元（約2.5億円、1998年の都市部労働者の平均賃金は約15万円）。89.4%の学習者は法輪大法を通じて精神状態が落ち着き、道徳が向上したという。徹底的な自我の抑制と向上も見られた。

多くの人が実感した不可思議な現象

一、驚異的な改善のスピードと効果

多くの学習者は、法輪功を学んで心身ともに改善した。しかもそのスピードと効果は驚異的であった。李先生の講義を聞いてから、あるいは自宅で法輪大法の書籍を読んでから3~5日以内に病気の症状が消え、全身が軽くなった者もいた。大多数は数カ月あるいは1~2年以内に病気の症状が完全に消えたか、好転した。調査対象の12,553人のうち、98%は数年以内に病気治療と健康保持の効果が現れた。一方で、2%の学習者が表面的に効果がないと回答した（ただしその中には、煉功を始める前にもともと元気だった学習者も含まれる）。

二、現代医学の奇跡

多くの学習者は、「薬土瓶」（常に薬を飲む人のこと）か、

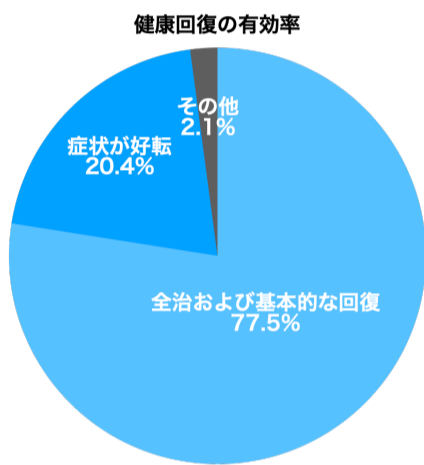
あるいは病院の常連だった。煉功を始めてから間もなく、薬を飲むことも注射もしなかったが、病気が悪化したり、再発したりせず、かえって身体状況はますます良くなった。

三、不治の病も回復

学習者の一部は医学的に頑固な病気、不治の病、あるいは診断できない病気を患っていた。しかし法輪功を通じて、奇跡的に回復した。

四、若返り

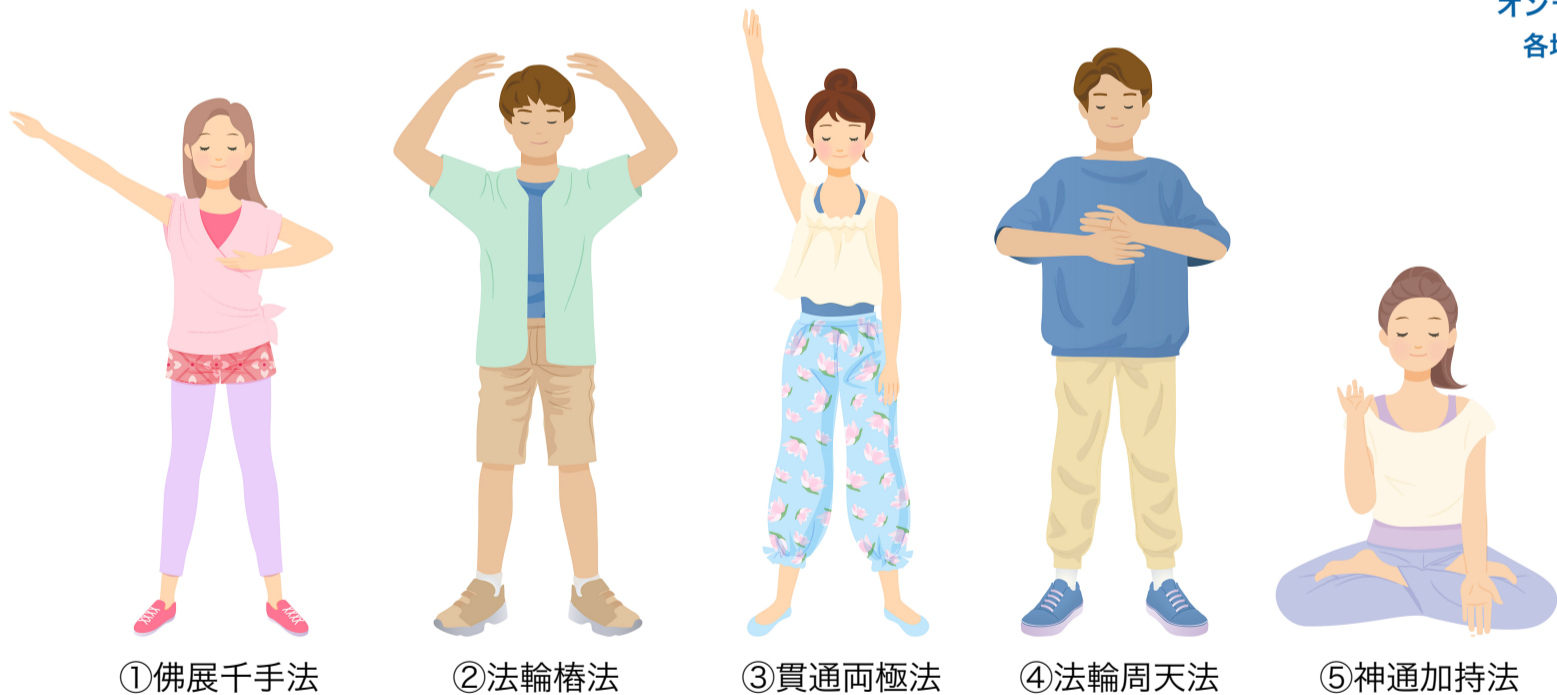
病症が消えただけでなく、体が若い方向へ戻る現象が現れた。年配の学習者の皺が少なくなり、髪の毛が黒くなり、顔色に赤みが差したり、皮膚に張りが出てつるつるになる現象が現れた。特に解釈できないのは、多くの年配女性に生理が戻ったことだった。



心と体を鍛える法輪功 5セットのエクササイズ



オンラインレッスン
各地の気功教室



①佛展千手法

②法輪椿法

③貫通両極法

④法輪周天法

⑤神通加持法



『法輪功』（ファールンゴン）

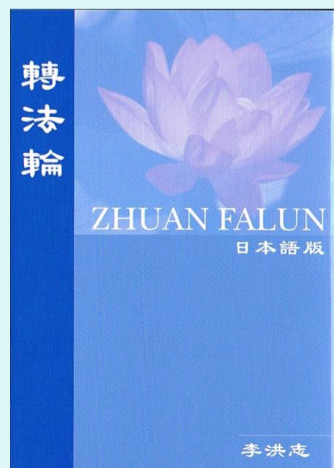
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

11月、14人の法輪功学習者が迫害され死亡したと判明

明慧ネットの統計によると、2023年11月において、新たに14人の法輪功学習者が迫害により死亡したと判明した（うち、吉林省、安徽省がそれぞれ3人、内モンゴル2人、甘肅省、広東省、河南省、黒竜江省、湖南省、遼寧省がそれぞれ1人）。

14人が生前に受けていた迫害は、例えば刑務所での拷問や不明な薬物注射、長時間にわたる強制労働、長期的な嫌がらせ、年金停止等である。



広東省の蘇湘紅さん 迫害され死亡

蘇湘紅さん（78歳女性）は遼寧省出身、広東省中山市坦洲鎮に在住。2019年7月12日、ゼロ行動（法輪功学習者の数をゼロにする）の一環で鎮610弁公室、国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関）に身柄を拘束され、1年以上迫害された。そのために蘇さんは身の回りのことができなくなり、裁判所に懲役3年、刑務所外執行の不当な判決を宣告された。その後も、中国共産党（以下、中共）の関係者は月2回、蘇さんの自宅へ行って嫌がらせを続けた。そして今年10月12日、蘇さんは長期にわたる迫害により他界した。

吉林省の谷今芬さん 長春女子刑務所で死亡

谷今芬さん（66歳女性）は吉林省の出身。今年4、5月、市民に法輪功について伝えたとして、中共による法輪功への誹謗中傷を信じる人に通報され、北山街派出所の警官に身柄を拘束された。その後、検察庁に起訴され、迫害から逃れるため一時的に放浪生活を余儀なくされた。しかし谷さんは帰宅時に身柄を拘束され、不当な判決を宣告された。10月1日、谷さんは長春女子刑務所で迫害により死亡した。

湖南省水利局の元副局長 迫害され死亡

李典型さん（84歳男性）は、湖南省懷化市沅陵県に在住。法輪功を学んでいるとの理由で、長期にわたって心身の面でも経済的な面でも迫害を受けた。今年4月3日、県人力資源・社会保障部の関係者は李さんに年金の返還を強要した。その後、李さんは脳出血で他界した。

李さんは県水利局の元副局長で、水利と電力のエンジニアであった。1998年に法輪功を学び始めてから、肺病や胃病、リウマチなどの病気が完治し、健康を取り戻した。以来、20年以上にわたって薬を飲む必要がなかった。李さんは法輪功の無実、自ら恩恵を受けたことを伝えて、中共から何度も嫌がらせ

を受け、身柄を拘束され、不当な判決を宣告された。さらに年金も停止された。

内モンゴルの梁立新さん 迫害により死亡

梁立新さん（69歳女性）は、内モンゴルヒンガン盟突泉県の出身である。1997年から法輪功を学び始め、中共の迫害により、かつて2年6カ月の労働教養処分を科され、2回にわたって懲役7年と3年6カ月の実刑判決を宣告された。今年3月、梁さんは長春市に在住する娘の自宅に移住したが、地元派出所の警官に身柄を拘束された。梁さんは九台留置場、その後は長春市留置場に拘禁され、わずか6日後、迫害により死亡した。

廈門市の医師、李建西さんに懲役5年6カ月の不当判決

廈門市の法輪功学習者である李建西さん（54）は11月23日午前、集美区裁判所のオンライン裁判で、懲役5年6カ月、罰金5万元（約100万円）の不当判決を宣告された。

同裁判所は、前日の夕方になってはじめて、11月24日午前に予定されていた裁判が11月23日午前に繰り上げられたことを家族に通知した。裁判中、法廷警官6、7人が警備し、裁判官の涂学斌は判決結果を読み終えると直ちに閉廷を宣告した。

法輪功を学び心身が激変

李さんは、物心ついたときから胃痛と関節痛に悩まされていた。特に胃痛は、冷たいものが食べられないほど酷かった。しかし法輪功を学び始めると、李さんの心身は激変した。幼い頃から考えていた生命や宇宙についての疑問も解決した。胃痛と関節痛は薬なしで治り、李さんは身体的な問題で仕事に影響を与えることもなく、医療費も一銭もかからず、心身ともに良好な状態だった。

李さんは、中国で有名な漢方医、故・李可氏の内弟子であり、学術面では、漢方医の第五の古典と呼ばれる『円運動の古代中医学』の編集・出

版に参加し、学界ではよく知られている。

10年以上も法輪功を学んでいる李さんの臨床効果は顕著である。日々の仕事と生活で法輪功の教えに従って自らを律し、全力を尽くして働いた。職場の大黒柱であり、迫害の時期に多くの精神的なプレッシャーを受けても、業務能力と仕事量はともにトップ水準を維持していた。30年以上も医療に携わり、10万人以上の患者を診察・治療し、多くの命を救ってきた。

李さんは、急性疾患や重篤な疾患の治療に漢方を用いることに長けている。体重わず

か750グラムの未熟児を、純漢方薬を使って1ヵ月で酸素ボンベから完全に離脱させたこともある。

李さんはまた、全国的な学術会議に何度も招かれて講演し、経験を共有してきた。業界で注目され、賞賛されている。

中国共産党による嫌がらせ

しかし李さんは、1999年に法輪功の無実を伝えるため陳情に行ったとして、15日間拘束された。「敏感日（中国共産党が政治的に警戒している時期）」になる度に電話や訪

問といった嫌がらせを受け、李さんと家族は心身ともに大きなダメージを受けた。

2020年3月18日午後、僑英街道と僑英派出所から計5人が李さんの病院に嫌がらせにきた。同年の3月から7月にかけて、集美政法委員会（治安・司法などを統括する機関）は衛生局と薬品监督管理局に対し、李さんのいる病院に対して、「合同法律執行検査」を3回強要した。検査には、中国共産党の関係者も入っていた。数回の検査によって細かな問題点がいくつか発見されたが、病院は改善した。しかし関係当局は、病院の建物のオーナーに対し、

契約期間満了前であるにもかかわらず、違法行為に従事しているという言いがかりで、強制的に賃貸借契約を解除するよう強要した。

2021年2月23日午前10時過ぎ、集美政法委員会の副書記に就任したばかりの呂火渠は、李さんの病院へ行き、嫌がらせや脅迫、威嚇をした。李さんに濡れ衣を着せるため、地元の政法委員会はスパイを送り込み、患者を装って診療を受け、李さんと病院に関する情報を得ることで、李さんに接近し、信頼を得よう

とした。

再び不当に連行

2022年6月19日午前8時半、廈門市集美市の公安警察は李さんと妻、息子一家、李さんの病院のスタッフまで連行した。

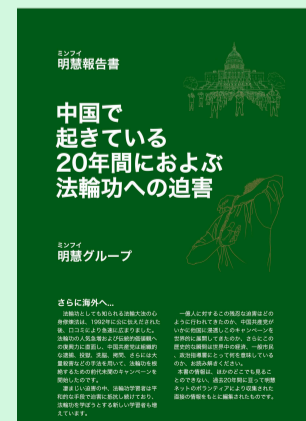
同日、集美公安の警官と漳平市公安の警官は、李さんの故郷である漳平の自宅を家宅捜索した。李さんは14日間、監視拘束され（コロナの検疫という名目）、7月4日に廈門第三留置場に移送された。その後、李さんの妻や子

供、スタッフは解放された。

2022年8月10日、李さんは集美区検察院から逮捕令を發布された。この間、公安警察は、病院から不法に持ち出した患者のカルテに記載された連絡先をもとに電話をかけ、李さんが診察する時に法輪功の資料を渡したことがあるかについて、7~8件ほど問い合わせ、李さんを罪に陥れようとした。

2023年11月23日午前、集美区裁判所は李さんに前述の不当な判決を宣告した。

『明慧二十周年報告書 中国で起きている20年間にもおよぶ法輪功への迫害』



過去20年間、中国本土の法輪功学習者が直面してきた迫害状況の記録。

中国共産党が他国の指導者や企業を脅迫することにより、海外まで迫害の手を拡大してきた実態が記されている。

PDFファイルの無料ダウンロード



APEC首脳会議開催、会場前で迫害停止よびかける

11月15日、APEC首脳会議がサンフランシスコのモスコニーセンターで開催された。当日の早朝、法輪功学習者（以下、学習者）は会場前で、中国共産党（以下、中共）指導部に迫害の停止、および全ての不当に拘禁されている学習者の釈放を求めた。

母親の孔慶平さんの釈放を求める

活動に参加した劉さんは「私は、母の孔慶平を助けるためにここに来ました。母は昨年10月22日に中共に連行されて以来、大連市姚家留置場にすでに1年以上拘束されています。証拠不

足であるにもかかわらず、いまだに釈放されていません」と語った。

親族の釈放を呼びかけ

ロサンゼルスのカレン・康さんは、飛行機でサンフランシスコを訪れ、中国で不当に拘束されている親族の釈放を中共に求めた。康さんによると、昨年10月31日、妹と妹の息子が連行されたという。「今日はここで、山西省太原市公安局万柏林支局の関係者に対し、無条件に妹の康淑梅と妹の息子・張焜を釈放することを強く求めます」

心に深い痛み

クリスチャンの朱国輝さんは、こう語る。「中国にいた

学生時代から法輪功を知っています。中共はずっと法輪功を迫害しています。大人になってから、中共の罪悪を知りました。キリスト教徒として、法輪功が迫害されているのを見て、心にとっても深い痛みを感じます」

現場を通りかかったサミュエルさんは、「法輪功はとても素晴らしく、学べば健康になります。中共がそれを許さないのは間違いです。人々は修煉する権利を持つべきだと思います」と話した。

チベット人のノーフェルさんも、中共の残虐行為に抗議するためにサンフランシスコを訪れた。「私たちは学習者を支持します。真・善・忍と

いう普遍的な価値を支持します」と彼は述べた。

生体臓器狩りは非常に野蛮な行為

「私は、法輪功をととても肯定的に見ています」と語るのは、サンフランシスコで金融業に従事するロバート・マーティンさん。「彼らは生体臓器狩りという非常に野蛮な行為を制止しているからです。彼らの努力を強く支持します」

サンフランシスコ市立大学に勤めるデービッド・バウマンさんは毎朝、同大学のキャンパスで学習者が煉功している様子を見かけるという。「他の人が彼女たちの活動に加わることもあります。彼女たちはとても平和的です」



仏の地方自治体の人々 法輪功の反迫害を支持

法輪功学習者（以下、学習者）は11月21～23日まで、パリ・ポルト・ド・ベルサイユ展示ホールで開催された市長サロンに参加した。学習者は、来場者に法輪功の功法を披露し、資料を配布して法輪功を紹介し、法輪功迫害の実態も伝えた。

市長サロンは、各地の市長をはじめ地方自治体の運営、発展に参画する人々の集会である。ここで法輪功の資料を受け取った人の中には、前フランス大統領候補者や議員もいた。

反迫害の陳情書に署名した後、学習者を励ました市長もいた。ある要員は、他の都市でも法輪功を伝えて欲しいと要望した。迫害の実態を聞いて涙し、この迫害は「受け入れられない、必ず阻止する」と語った人もいた。

「全世界が迫害について知るべき」

フリーライターのロゼリン・シーガラーさんは、反迫害の陳情書に署名した後、「中国人の

人権は完全に奪われていますね。本当に驚いています」と語った。ちょうど1週間前、彼女はフランステレビの芸術番組で法輪功に関するドキュメンタリーを見ていた。彼女は学習者が留置場で酷い拷問を受けていること、毎日12時間以上の労働を強制されていることに驚いていた。

「法輪功は平和的なのに、迫害は完全に不公正です。全世界が迫害について知るべきです」とシーガラーさんは述べた。



■陳情書に署名をして声援を送る

外科医のアーネスト・ケン・ラッセルさんは、中国共産党による生体臓器刈りを非難した。彼は「医者への責任は患者を治療することです。迫害に反対し、人を殺すことに

も断固反対します」と語った。

ナースのミシェル・ムクさんは、「すべての人が立ち上がれば、この状況は変わるでしょう」と語った。

国際人権デー 英国議員らが法輪功支持

12月10日の「第75回国際人権デー」を前に、英国

グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国功労勲章受章者であるキングス・ヒース男爵のハント卿は次のように述べた。「国

際人権デー75周年に私の支持をお伝えできることを光栄に思います。中国共産党（以下、中共）に対して、迫害は容認できないことを明確にするよう、英国や各国政府に呼びかけてきました」

懸念を中国に提起

「中共による法輪功への迫害が今なお続いていることを憂慮しています」とプリチャード議員。イギリス政府は、何度も人権上の懸念を中国に提起し、欧州安全保障協力機構、欧州評議会にも提起していると述べた。

法輪功への迫害に反対し団結すべき

「学習者を迫害する中共の行為に深い懸念を抱いています。信仰や信念を実践することは、すべての人が享受すべき人権です」とマーレイ議員。

「北京当局は生体臓器狩りに責任を負うべきであり、国際社会は中共による迫害に反対し団結すべきです」

討論会で人権侵害について提起

「議会は『世界人権宣言』の75周年を記念し、討論会を開催する予定です。そこで人権侵害について提起したいと思います」とグレイディ議員。

「中国では、学習者が非人道的な扱いを受けています。人権侵害の行為に反対する声を上げるとともに、中共政府にこうした行為は容認できないことを明確に示すよう、各国政府に呼びかけなければなりません」

強制臓器摘出に驚き

「強制的な生体臓器摘出があることに驚きました。『中国における臓器移植濫用に反対する国際連合』の報告によれば、被害者の多くは法輪功の人達です。この事実にはショックを受けました。信仰や信念を実践し分かち合うことは、すべての人が享受すべき人権です」とリーヴス議員。「私は外務大臣に書簡を送り、イギリス政府が中国における人権を守るべくどのような外交活動を行ったのか尋ねるつもりです」



■(上段左から右、下同様) ハント卿、マーク・プリチャード議員、イアン・マーレイ議員、ジョナサン・エドワーズ議員、パトリック・グレイディ議員、エリー・リーヴス議員

中国伝統物語：孝行編 「仲由が米を背負う物語」

仲由（ちゅうゆう）は春秋時代の魯国の人で、字（あざな）は子路（しろ）、孔子の生徒で「孝子」としても有名です。

仲由の親孝行

家が貧しかったため、仲由はいつも野草を食べていました。しかし、自分は構わないが、両親に野草を食べさせるのは忍びないし、体に悪いと心配していました。

家に米がないため、両親が米を食べられるように、仲由は50kmも離れた所に行き、米を背負って帰ることにしました。普通なら1回か2回往復することが出来たと、一年中米を背負って帰ることを続ける

ことは困難なことです。しかし、彼は骨身を惜しまず、両親のために米を背負って帰りました。

冬になると、天気が悪くて大雪の中でも、仲由は凍りついた川を渡り、一步一步前へ進みました。夏の炎天下では汗でびしょびしょになりながら、両親に美味しいご飯を食べさせようと頑張りました。大雨の日になると、自分はびしょ濡れになっても米袋が濡れないようにしました。これほど大変なことを根気よく続けることは、容易なことではありません。

仲由の悲しみ

両親が亡くなると、仲由は南下して楚国にたどり着きました。楚王は仲由を役人として迎え、俸禄も手厚く与えました。彼は豊かな生活を手に入れました。

しかし、あまり喜びを感じませんでした。そして、両親が早く逝去したことを悲しんでいました。なぜなら、両親と一緒にこのような豊かな生活を暮らすことができず、どんなにいいだろうと残念に思ったからです。今となっては親孝行をしたくても、もう永遠に叶わないのです。

孝行は、あなたが心から誠意を持って親を敬うことが出来るかどうかを見るのです。仲由の素晴らしいところは、両親に

心から孝行しようとしたことです。彼は心から孝行を尽くし、辛いとか苦しいなどと感じませんでした。むしろ、大いに喜びを感じていました！



孝行の教え
仲由が米を背負う物語は、後世の人に「孝行に貴賤はなく、皇帝から庶民までどんな状況の人でも、どんなに苦しくて難しくても、孝行しようとする心さえあれば、きっとやり遂げることができる」と教えてくれます。

実は、私たちが親孝行できる時間は、日に日に減っています。親が健在な時に孝行しなければ、いつするのでしょうか。親がいなくなっただけでは孝行したくても、もう手遅れなのです。

英明な君主・康熙帝は寛仁で厳格

中国清王朝の3人目の皇帝・康熙帝（こうきてい）は、在位61年、国運の栄えた平和な時代を切り開き、「英明な君主」と讃えられます。

康熙帝は、幼少のころから中国の伝統経典を読み、「天理良心」の四字を尊重し、一生かけてその理念を実践しました。

寛仁な時もあれば、厳格な時もあり、いずれも内在の道理に従っています。朝廷は彼の仁愛を称賛し、庶民は臣服したと言います。

寛仁の道

康熙帝の仁愛は、庶民に対する仁政から始まります。民は貴なり、国家は次なり、君は軽なりという民本思想は、

後世に深い影響を与えました。また、土地占用停止命令を出し、租税減免を行い、彼の息子である雍正皇帝になると、数千年にわたって存在した人頭税を廃止しました。

康熙16年（1677年）、康熙帝が視察中、人が倒れていたことがありました。康熙帝は彼に温かいおかゆを食べさせ、故郷まで護送しました。このことから康熙帝の「仁愛」が伺えます。

康熙帝は、罪人の刑罰も軽減させました。法を犯した大臣にも寛大だったのです。

康熙25年（1686年）、康熙帝は大臣にこう語っています。「刑罰で民衆を懲らしめるよりも、道徳で感化させる

ほうが効果が大きい。我は教化の推進に力を入れた。それによって民の良心を呼び起こし、彼らと共に正しい道に向かうことを願った」

恩を返してもいいが、復讐はさせない

台湾の奪還にあたり、康熙帝は大臣に意見を求めました。指揮能力に優れる施琅將軍を起用すべきという主張もありましたが、施琅將軍は台湾の鄭氏と連絡を取り合い、鄭氏に投降するのではという反対意見もあったのです。

康熙帝は調査の上、施琅將軍の息子と甥が鄭氏に皆殺された事実を知りました。康熙帝は兵権を施琅將軍に渡し、十分な信頼を与えました。そして、施琅將軍に「台湾との戦で、きっと勝利できる」と言いました。さらに「鄭氏の部下を捕らえたら、彼らに恩を返してもいいが、復讐してはならない」と言いました。

施琅將軍は全力で戦い、勝利を収めました。そして、康熙帝の指示通り、彼は恨みを捨てて捕虜を優遇し、人々を感服させました。

極小額の脱税でも許さない

昆山市の名士・葉方藹が科挙の試験に合格しました。しかし検査により、彼は国税に白銀1両の未納があることが判明しました。康熙帝は、法に則って彼の官職を奪い、処罰を下しました。

康熙帝は清廉を唱え、国税を着服する者を厳しく処罰したのです。四川省の役人は、国税を徴収する際、不当に着服したために死刑宣告を受けました。

河道を巡察して、弊害を指摘

康熙46年（1707年）、蘇北に着き、水害を防ぐための工事を視察しました。工事責任者の張氏は「皇帝様に水路を掘るかどうかが決めていただきたい」と申し出ました。

康熙帝は、掘ろうとする場所が高いため、水が流れてこないこと、掘る場所を示す印は、民の墓の上であることを問題点として挙げました。「運河を掘ると、洪水が発生し、洪沢湖に氾濫することになる…。それよりも、洪沢湖

から水が出るところを広く深くして、ダム一帯とつなげたほうが良い解決方法だ」。そして、沿道に立てられた木の棒を撤去すると、民はみな喜びました。

康熙帝は「あなたが任命した役人は、工事に全く無関心で、あなたたちが報告した方案は、工事経費を着服したりするための愚かな方案だ」と張氏を叱りつけました。そして、背任の官僚に処分を下し、張氏らに「任務を遂行するように」と指示しました。康熙帝は、官吏への賞罰が明確だったのです。

それは、康熙帝が「心法は、統治の方法の源である」と見ていたからです。思想が正しいか正しくないかは、一瞬の間にしか分からないが、誤っていることに気づき、すぐに正せば、正しい道からそう遠く外れないはずだと言います。

英明な皇帝がいれば、賢臣も生まれるものです。各等級の役人は康熙帝を手本にし、名誉と節操を重んじ、民を愛し、社会全体は清廉の気風にあふれていたそうです。



写真特集



- ① 11月25日、天国楽団がモントリオールXmasパレードに参加
- ② 12月3日、カナダのバーリントン市でパレードを見たジーンさん「法輪功の人達は平和的」
- ③ インドのアンダマン・ドンボスコ学校で法輪功の功法を学ぶ生徒たち
- ④ 11月、南オーストラリア・ノーウッド市のクリスマスパレードに参加した法輪功チーム
- ⑤ 11月26日、ニュージーランド・オークランド市中心のクリスマスパレードで龍の舞を披露
- ⑥ 11月25、26日、さいたま市「ふれあいプラザいわつき」の展示会で功法を学ぶ人達



明慧ネットとは

明慧ネットは、1999年に中国語ウェブサイトを立て、2001年7月に日本語版を開発しました。法輪功について紹介すると同時に、世界各国の活動や、人々が法輪功を学んだ体験談を掲載しています。

また、中国本土で独自の情報伝達システムを構築し、危険な状況の中、現地から直接入手した情報を毎日大量に発信し、中国共産党による法輪功への迫害事実を報告しています。

明慧ネット日本語版 <https://jp.minghui.org/>